

宅建業法主管課のコーナー

富山県 土木部建築住宅課

〒930-8501 富山県富山市新総曲輪1-7

TEL：076-444-3355 FAX：076-444-4423

富山県庁ホームページ <http://www.pref.toyama.jp/>

○ 建築住宅課の紹介

当課は、宅地建物取引業法等を担当する管理係のほか、建築基準法、建築士法等を担当する建築指導係、県営住宅の管理・整備等を担当する住宅係、景観条例や屋外広告物条例を担当する景観係、開発許可や市街地再開発事業の指導等を担当する住みよいまちづくり班によって構成され、合計25名の体制となっております。

管理係は4人体制で、子育て世帯や県外からの定住世帯等の住宅取得に係る資金融資、予算及び庶務等の業務も担当しており、宅地建物取引業法に係る各種手続きの受付及び審査業務、相談対応等については、主担当者1名で対応しております。人員が限られており、対応には苦慮することもあります。係員で連携を取りながら日々業務に当たっております。

平成25年3月31日付で富山県知事免許業者数は874業者、登録主任者数は5,062人となっております。業者数については近年減少傾向にあります。

○ 富山県の「自然」について

富山県は東に3,000メートル級の北アルプス、南に飛騨高地、西に医王山から連なる丘陵、北は水深が1,000メートルに達する富山湾があり、豊かな自然に恵まれた県です。

20mにも達する雪壁の間を進む「雪の大谷」や、日本一の高さで圧倒的なスケール誇る「黒部ダム」等様々な景勝地を巡る「立山黒

部アルペンルート」や、日本の原風景を色濃く残し、世界遺産にも登録されている「五箇山合掌造り集落」等で、四季折々の富山の自然の魅力を体感していただければと思います。

○ 富山県の「食」について

富山県では、天然の生け簀とも呼ばれる富山湾で水揚げされる新鮮な海の幸を堪能することができます。冬の日本海の荒波にもまれて身が引き締まり、脂ののった「氷見の寒ブリ」を始め、水晶のように透き通った美しさから「富山湾の宝石」とも称される「シロエビ」、水揚げ時に青白く発光し、まるで蛍が乱舞しているかのように幻想的な光景を見せる「ほたるいか」等が代表的です。

また、富山は全国屈指の名水の地、米処でもあるため、良質な米と名水を惜しみなく使用した地酒等の特産品も豊富です。その他、富山ブラックラーメンに代表されるご当地グルメもございますので、お越しの際にはぜひ富山の「食」をご賞味ください。

○ 最近の富山県について

2015年春には北陸新幹線の開業が予定されております。現在、新駅の建設や周辺市街地の再開発が急ピッチで進んでいるほか、北陸地方初のアウトレットモールの開業も予定されています。

新幹線の開業後は東京・富山間が約1時間短縮され、より身近に富山県を感じていただけることと思いますので、皆様のお越しを心よりお待ちしております。

宅建業法主管課のコーナー

島根県 土木部建築住宅課

〒690-8501 松江市殿町1番地

TEL (0852) 22-5226 FAX (0852) 22-5218

島根県庁ホームページ <http://www.pref.shimane.lg.jp/>

◇建築住宅課について

当課は、参事（住宅総合調整）・課長・建築指導監のもと、技術職系職員と事務職系職員30名で業務を行っています。

宅建業は当課では事務職系職員1名で免許・指導を担当しています。

日々の届出・相談等の窓口業務については、出先機関である6県土整備事務所（松江・雲南・出雲・県央・浜田・益田）・1県土整備局（隠岐）でも行っています。人員削減・業務多忙の中、連携を図りながら（頭を悩ませながら）業務を行う毎日です。

◇神々の国しまねについて

よく目にされるフレーズかと思いますが、『神無月は、出雲では神在月』です。神在月（旧暦10月）には八百よろずの神々が出雲大社にあつまり、人々のご縁を話されます。

順不同ですが、本年は、60年に一度の出雲大社の平成の大遷宮と、20年に一度の伊勢神宮の式年遷宮が行われる稀有な年で、さまざまな奉祝の催しが予定されております。

◇ゆるキャラ等について

「しまねの吉田くん」自虐的なギャグが妙に心に残るアニメキャラで、本県のスーパー大使をつとめています。

「しまねっこ」昨年のゆるキャラグランプリで6位になった（カナリアイエローでお社もモチーフとしている）ネコで、本県のPR大使です。

◇地域の個性について

県民性については、気候が比較的寒冷なためか、助けあい、仲間を大切にするあたたかい人柄が多く見受けられます。

【隠岐地域】

夏場の輝く太陽と海をわたる潮風は、本当に生命力にあふれています。人情もそれは豊かで、懐深く進取の気性に富んでいます。最近では古典相撲を題材にした心あたたまる映画「渾身 KON—SHIN」の舞台となりました。

【出雲地域】

出雲大社など悠久のときの流れを思わせる落ち着いた雰囲気があります。雨にも縁が深く、最近では『縁雫 一えにしづくー』という言葉が女子学生の感覚からうまれ、松江で住民・観光客に親しまれています。また、この地域は日常風景の中での人々の心の交流を描く映画「白い船」の舞台となりました。

【石見地域】

世界遺産 石見銀山の位置するこの地域は、陽光も明るく海も美しく、豊かな自然の中、映画「天然コケッコー」の舞台となりました。石見神楽や、石州瓦を活用した美術館・石州和紙などみどころも多く、のびやかさが魅力です。

以上、本県の紹介とさせていただきます。



島根県観光キャラクター
しまねっこ
島観連許諾859号